

議会報告（一年間を振り返って）

●私は議会に立つとき、「行政のチェック」と「市民の願いを実現させるための具体的な提案」をモットーに活動してきました。「実現するまで粘り強く、あらゆる方向から何度でも!!」が私のスタイルです。

この一年間の主なテーマについてご報告します。

子どもの医療費の無料化に向けて

県内 34 市町村のうち中学校卒業まで所得制限なしに無料化しているところは 26 カ所あります。

土佐市でも、何度も提案しやっと実現しました。しかし、全額無料は市町村民税非課税世帯のみで、課税世帯は 1 万円を超えた額を補助することになっています。厳しい所得制限のため、生活保護基準以下の所得しかなくご家庭でも、4 割の子どもたちが無料化されておりません。

そこで、「貧困対策としても不十分すぎ

●きれいに整備されたトンボ公園は、毎日、たくさん子どもや親子連れでにぎわっています。地域の皆さんと共同で管理していく仕組み作りも必要では!? 身近な公園整備を進めたいですね

る」「子育て支援の位置づけで、県下の例に倣って全員を対象に」「決算状況から見ても、予算の 1/3 しか利用されていない。支援対象を拡大すべき」と、訴えております。

子育てしやすい環境は、みんなの願いです。

安価で利用できる 介護付き軽費老人ホームを

特養建設 89 床がやっと計画に盛り込まれ、喜んでいきます。しかし、土佐市には、要介護 2 以下で認知症のない方々が利用できる施設は病院関係以外ありませんでした。そんな中、今年 1 月に、介護付き有料老人ホーム・50 床がオープンし、さらに 50 床が予定されております。

ところが、これら施設の入所費用は、要介護 2 の場合、基本料金は 14 万円弱、その他の費用を加えると、16 万円から 17 万円にもなります。

一方、県内には 13 カ所、介護付き軽費老人ホームがあります。入所費用は同じ要介護 2 の場合、低所得者ではその他の費用

を加えても 11 万円ぐらいです。低所得者に対する家賃補助があることと、事務費など管理費の一部が補助される仕組みになっているからです。

そこで、介護付き軽費老人ホームの設置を、第 6 期介護保険計画に盛り込むよう、今から調査・研究をするよう提案しました。

公共工事における設計労務単価の引き上げを、労働者への賃金確保に

平成 25 年度より引き上げられた公共工事

の設計労務単価・約 15% (高知県は 13%) を、労働者の賃金確保につなげることや、単価引き上げに伴い国交省から通達された「特例措置」が活かされ、契約時に見積もられた労務単価が、速やかに労働者の賃金に反映されるよう指導することや、高知県の例に倣って、最低落札率 85% を 88% ぐらいに引き上げることを求めました。

24 年度の土佐市の建設事業の入札で落札率が 88% 以下だった事業は、79 件のうち 36 件で、平均落札率は 85.36% でした。

一方、落札率が 96% 以上の事業は 25 件

あり、平均落札率は 98.7%、最高は 99.5% でした。つまり、土佐市の入札では約半分の事業は厳しい「たたき」の状況にある一方、3 割あまりの事業では談合が杞憂される状態です。

災害時や様々な事業で、土木・建設事業者の皆さんには献身的なご協力をいただいております。健全な育成・発展は行政の務めでもあることは言うまでもありませんが、高すぎる落札率は抑える工夫をする必要があると指摘しました。

国保に一般財源の繰り入れを

国保は加入世帯の所得の減少と高齢化が進んでいるのに、国保会計への国の繰り入れは減る一方で、1984 年の国庫負担率は 50% だったのに対し、2007 年には 25% と半減しています。

その結果、国保加入者の平均所得は 179 万円から 167 万円と低くなっているのに、国保料は一人当たり約 4 万円から 8 万 4 千円と倍以上になりました。(※ グラフ参照ください)。

そういう中、土佐市の国保会計は 21 年度に基金が底をつき、24 年度末には、1 億 398 万 6456 円の累積欠損金を出しています。

高すぎる国保の抜本的な解決策は、国が繰り入れを増やすべきですが、それができていない今、せめて、地方単独で実施している医療費助成に対して、国がペ

ナルティーとしてカットしている分を、一般会計から繰り入れられるようルール化すべきではないかと質しました。

2011 年度、県内 34 市町村のうち 18 の市町村では、このような法定外繰り入れがされております。

2013年11月28日(木)18:30~ 土佐市社会福祉センター3階で

特定秘密保護法「本当は何が怖いのか」

この法律ができればどんな社会になるか、いま何ができるか、共に学びましょう!

講師 高田昌幸氏 (ジャーナリスト)

高知市出身、高知新聞記者。1996年、取材班の一員として「北海道庁公費乱用の一連の報道」で新聞協会賞、日本ジャーナリスト会議奨励賞を受賞。2004年には取材班代表として「北海道警の裏金問題取材」で新聞協会賞、日本ジャーナリスト会議大賞、菊池寛賞、新聞労連ジャーナリスト大賞を受賞されている。著書に『メディアの罨一権力に加担する新聞・テレビの深層』(共著 産学社2012年)、『真実 新聞が警察に跪(ひざまず)いた日』(柏書房2012年)など多数

伊方原発反対万人集会へのお誘い

土佐市からバスも出ます。バス代3千円。音楽やお話があって、食べ物屋さんも30店。遊山気分で、ご一緒に参加しませんか。

NO NUKES えひめ

福島を忘れない! 伊方を稼働させない!

12月1日(日) START 10:00

@松山市堀之内 城山公園 やすらぎ広場(芝生) ※雨天決行

スピーチ
鎌田肇
広瀬隆
山本太郎
ミサオ・
レッドウルフ
木村俊雄
(要請中)
吉良よし子
福島瑞穂ほか

私のおススメ はちみつ生姜

●生姜は身体を芯から温めて、冷えの改善や血行促進にも効果絶大! これからの季節、多用しましょう!

- ①生姜の土を落とし、きれいに洗う。
 - ②皮付きのまま1センチ角に切ってフードプロセッサーに入れ、すりおろした状態にする。
 - ③生姜300gに対して、はちみつ200g、砂糖200gを加えて火にかけ、沸いたらビンに移して保存する。
- これからの寒い夜、はちみつ生姜にお湯を加えて飲むと、身体が温まります。プレゼントにも喜ばれますよ。



大森陽子のフレッシュ便9号

子育て応援・暮らし第一をめざして

2013年11月14日発行 781-1105 土佐市蓮池337-15 ☎088(852)4551 大森陽子

この頃、気になること

戦争好きは秘密が大好き

国民の目、耳、口をふさぐ秘密保護法の制定、武器輸出三原則の廃止など、過去の侵略戦争を認めず、戦争できる国へまっしぐらの安倍総理に違和感を覚えます。立場を超えた平和運動が求められています。

若者の使い捨て、原発再稼働、消費税

若者の多くが使い捨てにされていること、核廃棄物の処理が未解決のまま原発を再稼働させようとしていること、消費税は社会保障以外に使わないと言いながら、社会保障費をどんどん削って大企業や一部のお金持ちを優遇していることなど、許しがたい事実です。

一方、土佐市の政治状況は?

市民の皆さんと「土佐市をよくする会」を作って市長選を戦い、少しずつ改善してきたと実感しております。

情実人事の話は聞きませんし、声の大きい人の意見が通ることもなくなりました。南海地震対策、子育て支援、高齢者対策など、不十分さはありますが「市民の暮らしを大切にする」努力がされています。

鎌田井筋の治水対策は急務

増水時、波介川導流事業の効果が確認されましたが、井筋は通常、6割の水しか供

▲ 第51回土佐市母親大会(2013年6月1日、土佐市社会福祉センター)の進行を務めた大森

給できないのに、大雨の時、水は溢れ出ています。行政は水の供給と、増水時の排水ポンプ設置など要望していますが、実現させる必要があります。

議会広報がないのは県内で土佐市だけ

議会の役割を市民の皆さんに知っていただくために必要な議会広報。議員に作ろうという意思があれば簡単に出来るのですが……。

微力でも集まれば大きな力に

国民全体の質がその国の政治の質を決定すると言われております。国のこと、土佐市のことを一緒に学び行動し、「暮らしやすいまちづくり」をめざして力を合わせましょう。